仏教名言

-

・」と訳されている蓮華の一種です。 「分陀利華」とは、 し、この人はこれ人中の分陀利華な「もし念仏するものは、まさに知る『観無量素経』に、 という文があります。 「プンダリーカ」とい サンスクリ ラ

蓮華)と称えられるような尊い人だと念仏者は、そのような分陀利華(白 して涅槃を得る譬えとして、泥に染まらない蓮華は、煩悩 の象徴とされています。 煩悩から解脱し 仏や仏法

極楽には蓮華

は理想の境地を表す花として愛好されびとに安らぎを与え、そこに咲く蓮華 清らかで美しい花を咲かせ、 仏教でも、 炎暑のインドでは、 泥の中に生まれながらも かも、 われています

その大修復なった御影堂で が近づいてきています。

すぐれた友となり、 に生まれるのである」と説いています。 の大修復なった御影堂で勤修され、親鸞聖人七百五十回大遠忌法要は、 本願寺御影堂の平成大修復は、 仏たちの家である阿弥陀仏の浄土 お堂いっぱいに分陀利華が咲き 修され、

な念仏者は観世音葉『観無量寿経』は 音菩薩や大勢至菩薩が 『は続いて「このよう』は続いて「このよう

人を分陀 利華と名づく) とうた

半)、パドマ(紅蓮華) 仏典にはその他に、1

仏事お休みのお知らせ 下記の日は緊急を除き仏事は休み

ます。よろしくお願いします。

- 16日(月) 23日(日)
- 1 0 月 8日(火) 20日(日)
- 1 1 月 15日(金)

下記の日は仏事はお受けできませ ん。よろしくお願いします。

10月6日(日)~10月7日(月)

URL https://konkouji.jp/

9月9日現在アクセス数 92, 987人

ホームページ開いています。

光



第219号 発行所 金光寺 宮崎県西臼杵郡 五ヶ瀬町大字鞍岡 5927番地 **5** 0982 83 - 2338

今年、突然境内地に咲きました。何の花? (9月6日撮影・当山)

今月法語カレンダーのことば 往生すべしとおもうべから わがこころよければ

親鸞聖人のご消息に出てくる一文です。こ 教の捉え方とは異なった道でした。 のご消息では、最初に「自力」「他力」の説 明がなされ、つづいて次のように記されていがを超えた、新しい浄土の行でした。本願 ます。

「この身が悪いから、阿弥陀仏が迎え取っ てくださるはずがないと思ってはなりません。 すから、自分は悪いものであると知るべきで す。また、自らの心が善いから、往生するこ とができるはずだと思ってはなりません。自 力のはからいでは、真実の浄土に至れること はできないのです」。

ここで批判されている考え方は、「賢善 精進」の思想といえます。「賢善精進」と は、善を積みあげ賢くなり精進していくこと で、自身の浄土への往生がより引き寄せられれます。 ていくとする考え方です。これらは確かに重 要なことですが、法然聖人・親鸞聖人の浄土

それは、これまでの自力による善の積みあ (第十八願) に刻ったところの念仏と信心で あり、他力の信行です。まさに阿弥陀如来に よって選択された本願に説かれているままの 行を、ただそのままに行う信行であり、自力 の蓄積とは根本的に異なった行いということ になります。

親鸞聖人が比叡山の修行での挫折を通し、 その後の人生を通してかみしめられた事実は、 「わが心が善くない」という思いであったと 考えられます。その思いを普遍化した結果、 自己を基点として善行を積みあげていきたい とする考え方を、遠ざけられたのだと考えら

> (本願寺出版社刊「大乗」誌掲載 『月々のことば』より抜粋 転載)

っほ太ういをが西見でⅠ思年に▼たた日どはに °+てと平だま¬激側て行スっの現そん <u> 佳</u>むていでにくすで九ば天号いん洋とすやしをはくのて台れれだ_「後きり風 職よいてすよ見。大州い気のまど側思。ばい台いよ方い風ま以上あにまま十かっる、がるてし丈かコ予戻し吹はいへいの風けうをたはせ後と1戻せし号 °被はか夫ら | 報したく雨まほコでがまで台と終ん と刈々そ害いしだはスでの▼こはすとⅠ私通せす風こわで台っっのでが来 °十ろっし風たぱ風し **`**ろ離をは風だと降がんスは過ん `て出ま自うれ通台はかはっ!ど」東すね自三 `たたはこりがた風十 こス刈早なせ然とた過風意らなてどのとシる▼然号やのの天と台吹

